

異文化コミュニケーション学部・研究科 5年一貫プログラム 2020年度募集要項

異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション研究科

1 5年一貫プログラム趣旨

- (1) 学業とリーダーシップの両面で高い潜在能力と強い意欲を持つ学生に、学部・大学院5年一貫プログラムを提供することで、4年間の学部教育では達成困難なさらに高い次元での教育を行い、社会の要請に応えることを目指す。
- (2) 4年次に異文化コミュニケーション学部学生のみで異文化コミュニケーション研究科異文化コミュニケーション専攻博士課程前期課程※の科目を履修し、大学院進学後、1年間で博士課程前期課程を修了することができる。※2016年度より開講されたカリキュラムを適用
- (3) 2016年度以降入学者を本プログラムの対象とする。

2 募集人員・コース

- (1) 募集人員：4名（各コースの全体数）
- (2) 募集コース

- ① 通訳翻訳専門コース：プロの通訳者、翻訳者を目指すコース
- ② 英語教育専門コース：中学、高校の英語教員を目指すコース
- ③ 日本語教育専門コース：国内外の高等教育機関などの日本語教員を目指すコース
- ④ 国際協力専門コース：国際協力機関などで活躍する専門家を目指すコース

※コース選定にあたって、関連分野の専門科目を可能な限り履修していることが望ましい。なお、申請前に希望コースの専門領域の教員に事前に相談すること。

3 出願資格

募集時に下記のすべてを満たす者

- (1) 異文化コミュニケーション学部3年次生【2016年度以降入学者】
(休学や派遣留学等で在学期数が満たない学生は、「在学6学期目」に申請すること)
- (2) 異文化コミュニケーション研究科博士課程前期課程への進学を希望する者
- (3) 2020年度春学期までのGPAが3.0以上の者かつ
2020年度春学期までに90単位以上修得している者
- (4) IELTSまたはTOEFL iBTのスコアを提出できる者(2018年12月1日以降に取得したスコアに限る)
- (5) 通訳翻訳専門コースにおいては、IELTS7.0以上、またはTOEFL iBTスコア100点以上を取得していること。非日本語母語話者については、加えて「日本語能力試験1級」資格を取得していること。
- (6) 英語教育専門コースにおいては、教職課程を履修中であること。
- (7) 専門演習(1~3)/Advanced Seminar(1-3)、卒業研究/Senior Research and Thesisを履修予定であること。

4 出願手続

次の出願書類を出願期間内に学部事務4課（マキムホール 6階）に提出すること。留学中等の理由で窓口での提出が難しい場合は学部事務4課まで事前に申し出ること。提出方法や受付時間を変更する場合は学部ホームページで通知する。

- (1) 出願書類

① 願書（志望理由書）

ワープロを使用して、A4判、横書き、日本語 2000 字程度（横 40 字、縦 30 行）で作成し、本要項に添付の表紙（所定事項記入）を付け、左上をホチキスで留めること。

② 異文化コミュニケーション学部専任教員の推薦状

書式自由。推薦教員の署名・捺印のあるもの。

③ 成績参照システムの個人画面のコピー（2020 年度春学期までの履修状況が確認できるもの）

④ IELTS または TOEFL iBT のスコアを証明する原本

※TOEFL iBT は、Test Taker Score Report（My Home Page からダウンロードして印刷したもの）も受付可

※通訳翻訳専門コースにおいては IELTS7.0 以上、または TOEFL iBT スコア 100 点以上を取得している必要がある（出願資格(5)参照）

⑤ 通訳翻訳専門コースを希望する非日本語母語話者については、「日本語能力試験 1 級」を証明する原本

(2) 出願期間

2020 年 12 月 7 日（月）～12 月 11 日（金）（受付時間は 10:30～15:30。時間厳守）

5 選考

書類選考とします。

6 選考結果の発表

2021 年 1 月 29 日（金）に、合格者の受付番号・学生番号を異文化コミュニケーション学部掲示板に掲示します。

7 合格後の注意事項

(1) 履修科目・単位数の取り扱い

- ① 学部 4 年次において、異文化コミュニケーション研究科博士課程前期課程科目（以下研究科科目）を最低 10 単位以上履修しなければならない。
- ② 学部 4 年次において履修する研究科科目は、履修登録上限単位数に含まれる。
- ③ 学部 4 年次において履修する研究科科目は、学部の卒業要件単位には含まれない。

(2) 学部卒業・研究科修了要件

- ① 異文化コミュニケーション学部の卒業要件および異文化コミュニケーション研究科博士課程前期課程の修了要件は、いずれも変更なく同様に適用される。
- ② 異文化コミュニケーション学部の卒業要件を満たした段階で学士の学位を、異文化コミュニケーション研究科博士課程前期課程の修了要件を満たした段階で修士の学位をそれぞれ授与する。

(3) 異文化コミュニケーション研究科博士課程前期課程への進学

- ① 学部 4 年次 7 月に「大学院特別進学生選考（口頭試問）」を行い、指定の研究科科目の履修状況と進学の意思を確認のうえ、適格者については異文化コミュニケーション研究科博士課程前期課程への進学を決定する（大学院特別進学生選考受験には選考料が必要）。
- ② 4 年間で学部を卒業できる見込みがない場合、4 年次に規定どおり大学院科目を修得できる見込みがない場合は、大学院特別進学生選考に出願することはできない。
- ③ 卒業は可だが規定どおり大学院科目を修得できなかった場合は、大学院への進学は認めるが、大学院

修了のための在学年数は通常の入学者と同様の扱いとする（2年間以上の在学が必要）

- ④ 特に理由がない限り、異文化コミュニケーション研究科博士課程前期課程への進学を辞退しないものとする。

問い合わせ先：立教大学学部事務4課（異文化コミュニケーション学部担当）

☎03-3985-4832 Mail ibunkagakubu@rikkyo.ac.jp

（平日 10:30～15:30、土曜 10:30～12:30）